

令和4年度

学 校 要 覧



三重県立杉の子特別支援学校

〒513-0004 三重県鈴鹿市加佐登三丁目2番2号

電話 059-379-1611(事務室)
059-379-1831(小学部職員室)
059-379-1652(中学部職員室)
059-379-1650(高等部職員室)

FAX 059-379-1632

ホームページ <http://www.mie-c.ed.jp/ssugin/>

E-mail ssugin01@mxs.mie-c.ed.jp



杉の子特別支援学校校歌

作詞 村 主 堯 秀

作曲 藤 門 光 昭

昭和53年2月11日制定



三、	二、	一、
燃や しつ づけ ん 生 命 の 火	燃や しつ づけ ん 希 望 の 火	燃や しつ づけ ん 文 化 の 火
我 等 の 学 び 舎 杉 の 子 に	我 等 の 学 び 舎 杉 の 子 に	我 等 の 学 び 舎 杉 の 子 に
心と 体 培 い て	明日 の 力 を 信 じ つ つ	歴史 は 古 き 加 佐 登 の 地
潮風 の ご と く た く ま し き	若鮎 お ど る 清 流 に	いに しえ し の ぶ 東 海 道
伊勢 の 海 原 渡 り 来 る	鈴鹿 の 流 れ 水 碧 あお く	鈴鹿 の 連 山 日 に 映 え て

1. 沿革

昭和39年10月	鈴鹿市教育委員会の依頼により、鈴鹿市立加佐登小学校、鈴鹿市立白鳥中学校より教師2名が国立療養所鈴鹿病院へ出向いて出張授業を開始する。
昭和40年4月19日	同病院内に鈴鹿市立加佐登小学校特殊学級・鈴鹿市立白鳥中学校特殊学級が開設される。
昭和46年4月1日	鈴鹿市立加佐登小学校杉の子分校・鈴鹿市立白鳥中学校杉の子分校となる。
昭和49年6月19日	三重県立養護学校鈴鹿分校開設式を挙行し、創立記念日に制定する。
昭和52年4月1日	三重県立杉の子養護学校として開設される。
〃	初代校長 権部 周行 就任
昭和54年4月1日	養護学校の義務制により重度重複児に訪問教育を開始する。
昭和56年4月1日	2代校長 浅生 剛 就任
昭和59年4月1日	3代校長 藤門 光昭 就任
昭和63年4月1日	4代校長 伊藤 文夫 就任
平成元年4月1日	高等部開設される。
平成3年4月1日	5代校長 渡辺 敏雄 就任
平成5年4月1日	重複学級（小・中・高）認定される。
平成6年4月1日	6代校長 出口 義明 就任
平成9年4月1日	7代校長 川添 護 就任
平成10年6月7日	高等部棟竣工式を挙行する。
平成11年4月1日	高等部訪問教育を試行する。
平成12年4月1日	8代校長 大市 智子 就任
平成14年4月1日	9代校長 和田 文子 就任
平成19年4月1日	学校教育法の改正に伴い「三重県立杉の子特別支援学校」に改める。
平成19年4月1日	10代校長 浅生 篤 就任
平成20年3月	「県立特別支援学校整備一次実施計画」において、石薬師高等学校内に分校（知的障がい対応の高等部）を設置する計画が公表される。
平成20年4月1日	知的障がい教育部門を設置する。
平成21年4月1日	11代校長 望月 順一 就任
平成22年4月1日	三重県立杉の子特別支援学校分校（高等部）が三重県立石薬師高等学校内に開校される。
平成22年12月1日	12代校長 川本 清貴 就任
平成25年4月1日	13代校長 生駒 昌之 就任
平成27年4月1日	14代校長 竹田 秀成 就任
平成29年4月1日	15代校長 坂本 学 就任
令和2年4月1日	16代校長 藤田 盛久 就任
令和4年4月1日	17代校長 小林 高人 就任

2. 教育目標

(1) 学校教育目標

一人ひとりの児童生徒の可能性を引き出し、生きる力を育成する。

(2) 目指す学校像(基本理念)

◇一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす。

- ・一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- ・一人ひとりの自立や社会参加をめざした一貫性のある教育の構築
- ・教職員間の対話・会話を大切にした組織力の向上
- ・共生・共学の推進
- ・防災対策・防災教育の推進
- ・人権感覚あふれる学校づくりの推進

(3) 学部目標

<小学部>

- ①健康な体を作る。
- ②身近な先生や友達と関わり合いながら、コミュニケーションの基礎を身につける。
- ③生活のルールやマナーを身につける。
- ④遊びや生活経験を通して学習意欲をもつ。
- ⑤社会参加に向けて生活の基礎を作る。

<中学部>

- ①健康な体を作る。
- ②集団の中の自分を意識し、集団の中でのやり取りを通して、自分から周りへ働きかける力を身につける。
- ③集団のルールやマナーを身につける。
- ④学習に意欲的に取り組み、幅広い知識を身につける。
- ⑤校内から校外へ目を向け様々な体験を通して、自信につなげる。

<高等部>

- ①健康を保持する。
- ②自分と社会を意識でき、色々な人とのやりとりができる。
- ③社会で生活する上でのルールやマナーを身につける。
- ④自ら学び、教養を深め、文化的な生活を実現する。
- ⑤卒業後の生き方に向けて生活の目標をもち、自立に向けて努力する。

3. 児童生徒数 (5月1日現在)

〈小学部〉

		1	2	3	4	5	6	計
鈴鹿市	男	3	7	6	6	6	4	44
	女	1	1	7	2	0	1	
亀山市	男	0	0	2	2	0	3	8
	女	1	0	0	0	0	0	
計		5	8	15	10	6	8	52

〈中学部〉

		1	2	3	計
鈴鹿市	男	9	9	5	33
	女	4	2	4	
亀山市	男	1	3	2	8
	女	1	1	0	
計		15	15	11	41

〈高等部〉

		1	2	3	計
鈴鹿市	男	1	1	2	5
	女	0	0	1	
亀山市	男	0	0	1	1
	女	0	0	0	
計		1	1	4	6

4. 教育課程

◆小学部

A課程(肢体不自由教育領域)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	国語	9	9	7	7	5	5
	社会			2	3	3	3
	算数	4	5	5	5	5	5
	理科			3	3	3	3
	生活	2	2				
	音楽	2	2	2	2	2	2
	図画工作	2	2	1	1	1	1
	家庭					1	1
	体育	1	1	1	1	1	1
	外国語					1.4	1.4
特別の教科	道徳	1	1	1	1	1	1
外国語活動				0.4	0.4		
総合的な学習の時間				0.6	0.6	0.6	0.6
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		3	3	4	4	4	4
計		25	26	28	29	29	29

1授業時間を45分とする。

B課程(知的障がい教育領域)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	生活	2	3	3	3	3	3
	国語	1	1	1	1	1	1
	算数	1	1	1	1	1	1
	音楽	1	1	1	1	1	1
	図画工作	1	1	1	1	1	1
	体育	1	1	1	2	2	2
特別の教科	道徳	※	※	※	※	※	※
特別活動		※	※	※	※	※	※
自立活動		2	4	4	4	4	4
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	15	15	15	15	15	15
	遊びの指導	1	1	1	1	1	1
計		25	28	28	29	29	29

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

C課程(重複障がい教育領域)

学年		週授業時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科別の指導	生活	※	※	※	※	※	※
	国語	※	※	※	※	※	※
	算数	※	※	※	※	※	※
	音楽	1	1	1	1	1	1
	図画工作	※	※	※	※	※	※
	体育	※	※	※	※	※	※
特別の教科	道徳	※	※	※	※	※	※
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		14	15	17	18	18	18
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	5	5	5	5	5	5
	生活単元学習	3	3	3	3	3	3
	遊びの指導	1	1	1	1	1	1
計		25	26	28	29	29	29

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

D課程(重複障がい訪問教育領域)

学年		週授業時数 全学年
教科別の指導	生活	※
	国語	※
	算数	※
	音楽	※
	図画工作	※
特別の教科	道徳	※
特別活動		1
自立活動		4
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	5
	計	10

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。

1授業時間を45分とする。

各教科等を合わせた指導		日常生活の指導	遊びの指導
教科別の指導	生活	4	
	国語	2	
	算数	1	
	音楽		
	図画工作		
	体育	2	0.5
特別の教科	道徳	1	
特別活動		1	
自立活動		4	0.5
計		15	1

各教科等を合わせた指導		日常生活の指導	生活単元学習	遊びの指導
教科別の指導	生活	0.5	0.5	
	国語	0.5	0.3	
	算数	0.5		
	音楽	0.5	0.3	
	図画工作		0.5	
	体育			0.5
特別の教科	道徳	1		
特別活動				
自立活動		2	1.4	0.5
計		5	3	1

各教科等を合わせた指導		日常生活の指導
教科別の指導	生活	0.5
	国語	0.5
	算数	0.5
	音楽	1
	図画工作	1
特別の教科	道徳	1
特別活動		0.3
自立活動		0.2
計		5

◆中 学 部

A課程(肢体不自由教育領域)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	①4②4③3
	社会	①3②3③4
	数学	①4②3③4
	理科	①3②4③3
	音楽	1
	美術	1
	保健体育	1
	技術・家庭	1
	外国語(英語)	4
	選択教科	—
特別の教科 道徳		1
総合的な学習の時間		1
特別活動		1
自立活動		5
計		30

1授業時間を50分とする。

①は1学年、②は2学年、③は3学年をあらわす。

B課程(知的障がい教育領域)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	2
	社会	※
	数学	2
	理科	※
	音楽	2
	美術	1
	保健体育	2
	職業・家庭	2
	外国語(英語)	※
	選択教科	—
特別の教科 道徳		1
総合的な学習の時間		1
特別活動		※
自立活動		4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	10
	作業学習	3
計		30

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。
1授業時間を50分とする。

C課程(重複障がい教育領域)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	※
	社会	※
	数学	※
	理科	※
	音楽	2
	美術	2
	保健体育	2
	職業・家庭	※
	外国語(英語)	※
	選択教科	—
特別の教科 道徳		※
特別活動		1
自立活動		15
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	7
	生活単元学習	1
計		30

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。
1授業時間を50分とする。

D課程(重複障がい訪問教育領域)

全学年		週授業時数
教科別の指導	国語	※
	社会	※
	数学	※
	理科	※
	音楽	※
	美術	※
	職業・家庭	※
	外国語(英語)	※
	特別の教科 道徳	※
	特別活動	1
自立活動		4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	5
	計	10

※については、主に各教科等合わせた指導の中で取り扱う。
1授業時間を45分とする。

各教科等を合わせた指導		日常生活 の指導	作業学習
教科別の 指導	国語	1	0.5
	社会	1	
	数学	1	0.5
	理科	1	
	音楽		
	美術		
	保健体育	2	
	職業・家庭	1	1
	外国語	1	
	特別の教科 道徳		
特別活動		1	
自立活動		1	1
計		10	3

各教科等を合わせた指導		日常生活 の指導	生活単元 学習
教科別の 指導	国語	1	0.3
	社会	0.5	
	数学	0.5	
	理科	1	
	音楽	1	0.2
	美術		
	保健体育		
	職業・家庭	0.5	
	外国語	0.5	
	特別の教科 道徳	1	
特別活動			
自立活動		1	0.5
計		7	1

各教科等を合わせた指導		日常生活 の指導
教科別の 指導	国語	0.3
	社会	0.3
	数学	0.2
	理科	0.2
	音楽	1
	美術	1
	職業・家庭	0.3
	外国語	0.2
	特別の教科 道徳	1
	特別活動	0.2
自立活動		0.3
計		5

◆高等部

A課程（肢体不自由教育領域）

教科	科目	標準 単位数	設置 単位数	令和4年度入学生			総修得 単位数
				1年	2年	3年	
教科別の 指導	国語	現代の国語	2	4	2	2	4
		言語文化	2	3	1	2	3
		国語表現	4	4		4	4
	地理歴史	地理総合	2	2	2		2
		歴史総合	2	2		2	2
	公民	公共	2	2	2		2
		政治・経済	2	2		2	2
	数学	数学Ⅰ	3	4	2	2	4
		数学A	2	2		2	2
	理科	科学と人間生活	2	2	2		2
		化学基礎	2	2		2	2
		生物基礎	2	2		2	2
	保健体育	体育	7～8	7	3	2	7
		保健	2	2	1	1	2
	芸術	音楽Ⅰ	2	3	1	1	3
		美術Ⅰ	2	3	1	1	3
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	2	2	4
		論理・表現Ⅰ	2	2		2	2
	家庭	家庭基礎	2	2	2		2
		情報Ⅰ	2	2		2	2
	学校設定教科	課題研究	2～5	2		2	2
	総合的な探求の時間		3～6	4	1	1	4
	特別活動			3	1	1	3
	自立活動			25	7	9	25
	総単位数			90	30	30	90

は、必修科目

・「科学と人間生活」を含む2科目、又は、基礎を付した科目を3科目。

C課程（重複障がい教育領域）

全学年		週単位 時数
教科別の 指導	国語	※
	社会	※
	数学	※
	理科	※
	音楽	2
	美術	1
	保健体育	2
	職業	0
	家庭	※
	外国語（英語）	※
	情報	0
特別の教科 道徳		※★
総合的な探求の時間		☆
特別活動		1
自立活動		19
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	5
計		30

各教科等を 合わせた指導		日常生活 の指導
教科別の 指導	国語	0.5
	社会	0.5
	数学	0.5
	理科	0.5
	音楽	
	美術	
	保健体育	
	職業	
	家庭	0.5
	外国語（英語）	0.5
特別の教科 道徳		1
特別活動		0.5
自立活動		0.5
計		5

・※については、主に各教科等を合わせた指導
の中で取り扱う。
・★については、全教育課程を通じて行う。
・☆については、自立活動の一部を充てる。
・1単位時間を50分とする。

D課程（重複障がい訪問教育領域）

全学年		週単位 時数
教科別の 指導	国語	※
	社会	※
	数学	※
	理科	※
	音楽	※
	美術	※
	保健体育	0
	職業	0
	家庭	※
	外国語（英語）	※
	情報	0
特別の教科 道徳		※★
総合的な探求の時間		☆
特別活動		1
自立活動		4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	5
計		10

各教科等を 合わせた指導		日常生活 の指導
教科別の 指導	国語	0.3
	社会	0.2
	数学	0.3
	理科	0.2
	音楽	1
	美術	1
	保健体育	
	職業	
	家庭	0.3
	外国語（英語）	0.2
特別の教科 道徳		1
特別活動		0.2
自立活動		0.3
計		5

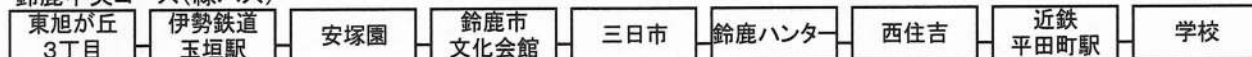
・※については、主に各教科等を合わせた指導
の中で取り扱う。
・★については、全教育課程を通じて行う。
・☆印については自立活動の一部を充てる。
・1単位時間を45分とする。

5. スクールバス（4コース）

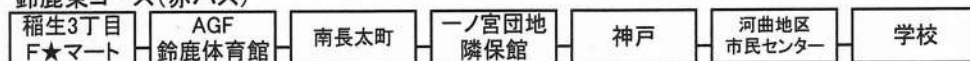
亀山コース（白バス）



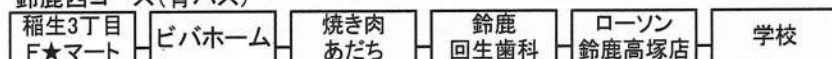
鈴鹿中央コース（緑バス）



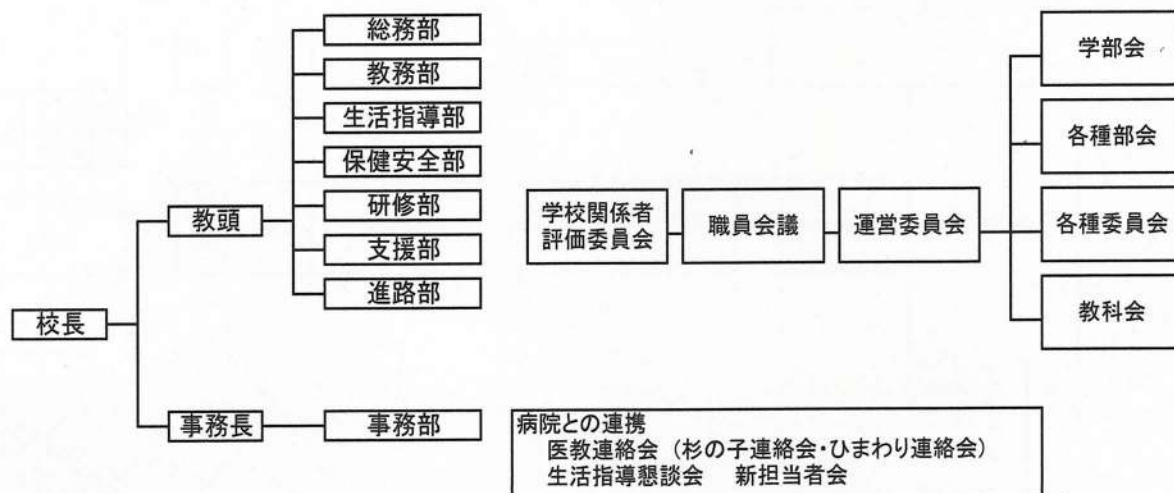
鈴鹿東コース（赤バス）



鈴鹿西コース（青バス）



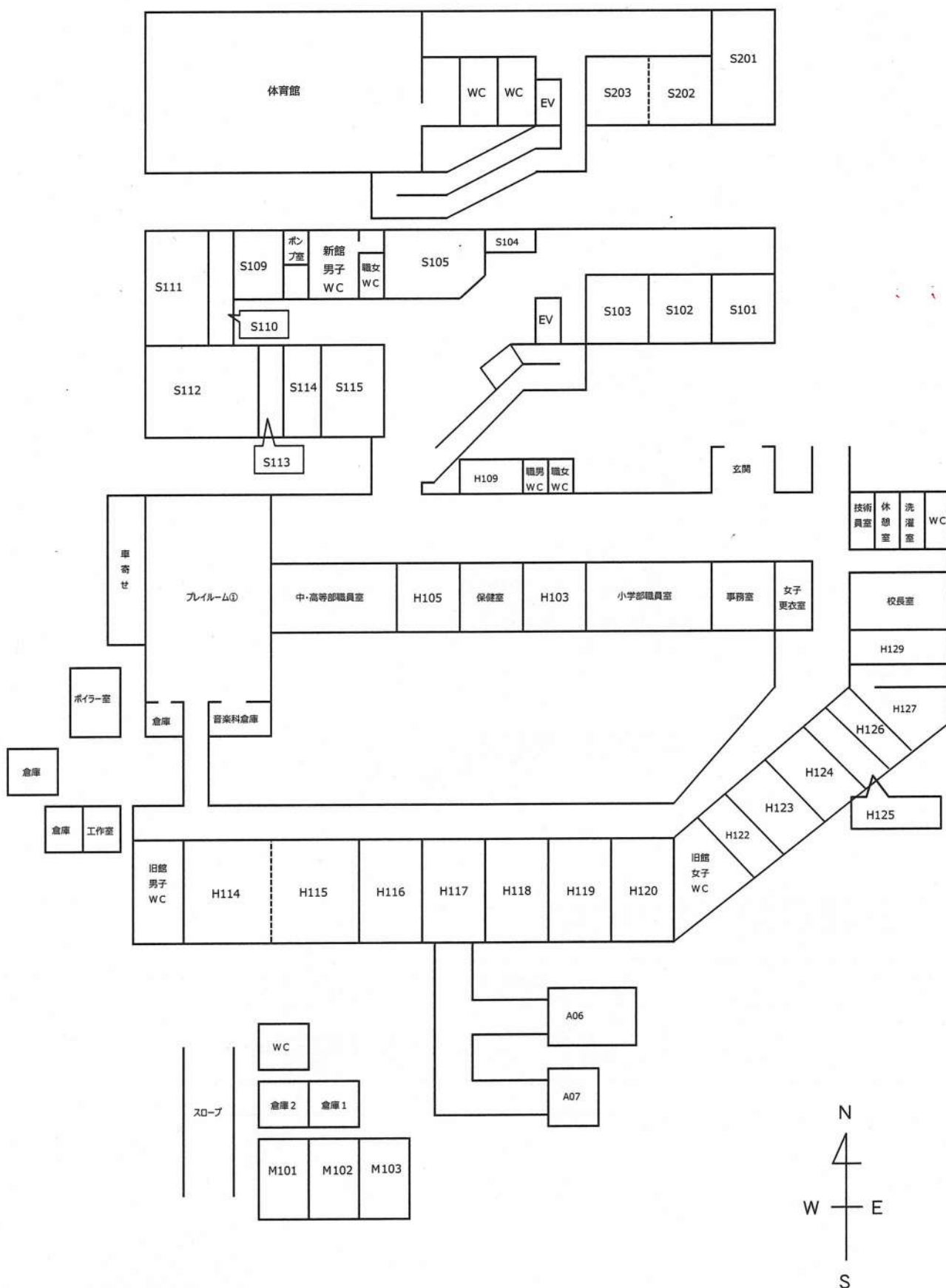
6. 学校運営組織表



7. 職員数（5月1日現在）

職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	常勤講師 (看護師含む)	非常勤講師	実習助手	計
人数	1	1	45	1	11	3	1	63
職名	事務長	事務職員	環境整備	介助員	学校業務 支援員	スクールバス 添乗員		総計
人数	1	3	2	2	1	12		84

教室配置図

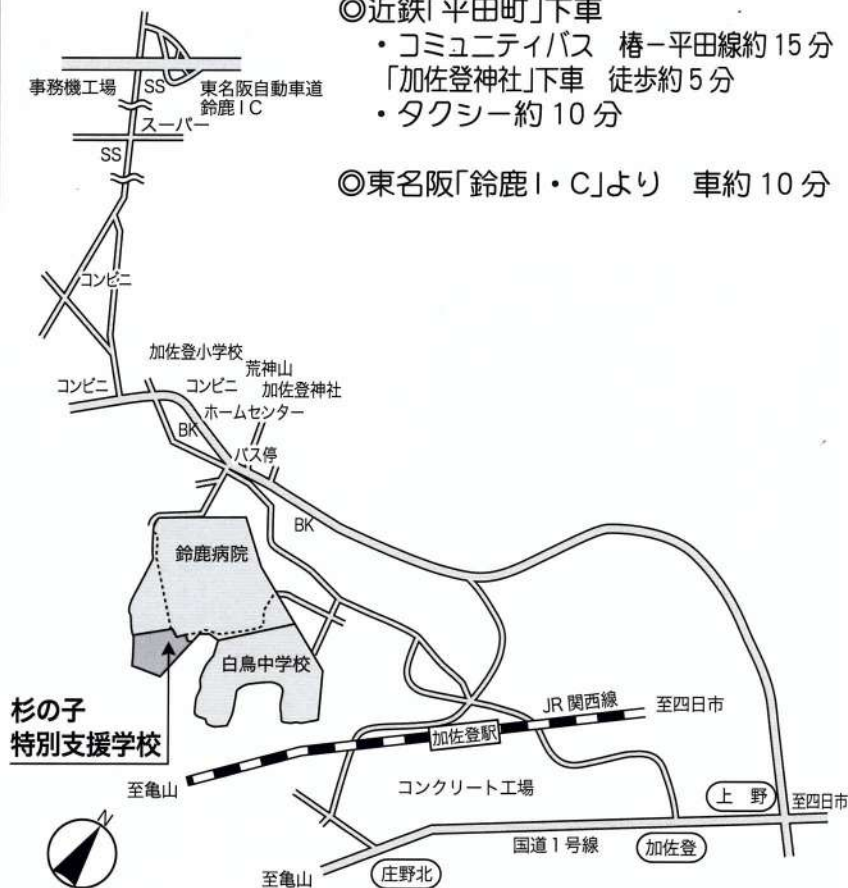


杉の子特別支援学校 交通のご案内

◎JR 関西本線「加佐登」下車
徒歩約 10 分

◎近鉄「平田町」下車
・コミュニティバス 椿ー平田線約 15 分
「加佐登神社」下車 徒歩約 5 分
・タクシー約 10 分

◎東名阪「鈴鹿 I・C」より 車約 10 分



アクセス マップ

